

月岡 芳年 展

最後の浮世絵師

The last ukiyo-e artist
Yoshitoshi Tsukioka

激動の時代を駆け抜けた、鬼才。

2024年10月26日^土 ⇒ 12月1日^日

[開場時間] 10:00~17:00 (入場は16:30まで)
[休館日] 月曜日(ただし11月4日(月・祝)開館、翌5日(火)休館)

[会場] 九州芸文館

《一魁随筆 西塔ノ鬼若丸》(部分) 明治5~6年(1872~73)
ふくおか県芸術文化祭2024参加事業

九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN

最後の浮世絵師 月岡芳年展

The last ukiyo-e artist Yoshitoshi Tsukioka

月岡芳年(1839-1892)は、師である歌川国芳の自由な発想を継承しつつ、西洋画の写実性を取り込み、迫力ある大胆な構図、静謐さと緊張感に満ちた一瞬を捉えた作風で、浮世絵の歴史の最後に強烈な閃光を放ちました。

「血みどろ絵」が有名な芳年ですが、歴史画、武者絵、風俗画、美人画と作品は多岐に渡ります。本展では、妖怪画の傑作「新形三十六怪撰」、リアリティを追求した「新撰東錦絵」、近代日本画の美人画を予兆させる「風俗三十二相」、晩年の代表作「月百姿」などの重要な作品群から約150点を紹介します。幕末から明治への世の中の移り変わりを反映し、近現代の日本画にも影響を与えた天才浮世絵師・芳年の作品をご堪能ください。

- ①《月百姿 玉兔 孫悟空》明治22年(1889)
- ②《風俗三十二相 遊歩かしたさう 明治年間妻君之風俗》明治21年(1888)
- ③《新形三十六怪撰 蒲生貞秀臣土岐元貞 甲州猪鼻山魔王投倒ノ図》明治23年(1890)
- ④《芳流閣両雄動》明治18年(1885)
- ⑤《日向之国高千穂の峯に隆盛桐野と同意の詩歌を吟ずる図》明治10年(1877)
- ⑥《新撰東錦絵 鬼神於松四郎三朗を害す図》明治19年(1886)



①



④



②



③



⑤



⑥

関連イベント

【講演会】

芳年の「怪」と「快」

講師：神谷浩（本展監修／徳川美術館副館長兼学芸部長）

日時：10月26日（土）14:00～15:30

会場：教室工房3・4 定員：80名（先着順）

申込不要
参加無料
ただし
本展観覧券が
必要です

摺り体験

《東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪》（歌川広重作）

（はがきサイズ）を摺って持ち帰ることができます。

日時：会期中随時（受付は16時まで）

会場：展覧会場内

参加費：200円（申込不要）

※1回につき、1名1枚まで ※時間帯によっては混雑する場合があります。



アクロスミュージック・キャラバン

演者：寺田蝶美（筑前琵琶）

日時：11月4日（月・祝）

第1部13:30～

第2部15:00～（各回 約30分）

会場：エントランス・ギャラリー

主催：（公財）アクロス福岡、九州芸文館美術展実行委員会

申込不要
参加無料
先着順



観覧料	一般	高大生	小中生
	800円	500円	300円
	(600円)	(300円)	(100円)

※65歳以上の方は特別割引料金（600円）
※（ ）内は20名以上の団体料金
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方およびその介助者は無料

【主催】九州芸文館美術展実行委員会 【共催】西日本新聞社 【企画協力】青幻舎プロモーション



交通案内

【JR】

九州新幹線「筑後船小屋駅」から徒歩1分／鹿児島本線「筑後船小屋駅」から徒歩1分

【西鉄バス】

50番（久留米－船小屋）「筑後船小屋駅前」から徒歩1分

【九州自動車道】

「八女IC」から約10分、「みやま柳川IC」から約15分

【駐車場】

103台（2時間まで無料／以後1時間毎に100円）

九州芸文館

KYUSHU GEIBUN-KAN

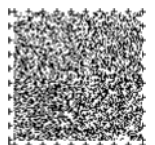
【問い合わせ先】

筑後広域公園芸術文化交流施設

〒833-0015 筑後市大字津島1131

TEL:0942-52-6435

URL: <https://www.kyushu-geibun.jp>



Uni-Voice
このマークは、目が不自由な人などが
使う音声コードです。